

平成30年度 指定管理運営についての評価

1 管理運営の状況

1	施設名	仙台市若林図書館	仙台市広瀬図書館	仙台市榴岡図書館
2	指定管理者	株式会社 ヴィアックス	丸善雄松堂 株式会社	丸善雄松堂 株式会社
3	指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日

2 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野		所見	所見	所見
I	総則	1.施設の目的や基本方針の確立	○図書館の設置目的を踏まえて策定された施設運営上の基本方針に基づき管理運営されており、全館共通の業務や行事を適切に行っている。	○図書館の設置目的を踏まえて策定された施設運営上の基本方針に基づき管理運営されており、全館共通の業務や行事を適切に行っている。
		2.施設目的の達成度	○サービスの質の向上や利用促進のための取り組みがなされている。	○サービスの質の向上や利用促進のための取り組みがなされている。
II	施設の運営管理体制	1.職員の勤務実績、配置状況	○職員の勤務実績や配置状況及び施設の開館状況は仕様書のとおり適切である。	○職員の勤務実績や配置状況及び施設の開館状況は仕様書のとおり適切である。
		2.開館の実績	○指定管理料は適正に執行されている。	○指定管理料は適正に執行されている。
		3.指定管理料の執行状況	○個人情報保護に努めるとともに、図書館情報システムのセキュリティ対策を徹底している。	○個人情報保護に努めるとともに、図書館情報システムのセキュリティ対策を徹底している。
		4.個人情報の保護	○危機管理マニュアルやヒヤリ・ハット集を作成し、必要な研修を実施している。	○事故や苦情等の処理報告書を榴岡図書館と共有し、ヒヤリ・ハット集の充実を図るとともに、危機管理に関する研修を実施している。
		4-2.情報セキュリティ対策	○災害発生時の訓練を関係機関と合同で適切に実施している。	○災害発生時の訓練を関係機関と合同で適切に実施している。
		5.事故防止対策への取組		
		6.事故発生時の対応体制の構築		
III	施設・設備の維持管理	1.建物・設備の保守点検	○建物、設備及び備品は適切に管理されている。	○建物、設備及び備品は適切に管理されている。
		2.備品の管理	○環境へ配慮した取り組みがなされている。	○環境へ配慮した取り組みがなされている。
		3.清掃業務		
		4.警備業務		
		5.環境への配慮		
		6.外構施設の保守点検・清掃業務		
		7.植栽・樹木等の維持管理		
IV	サービスの質の向上	1.職員のマナー		
		2.利用しやすい受付案内の実施		
		3.適切な利用情報の提供		
		4.広報等による利用促進の取組み	○施設修繕の長期休館を利用して、館内の書架やカウンター周辺等の表示について、デザインや色を統一した見やすい表示に刷新した。	○利用者特性に配慮した分かりやすい掲示物・広報物等の作成や丁寧な接客によりサービスの向上に努めている。
		5.サービス水準の確保		○スタッフが必要な研修を受講する体制が整っており、スタッフミーティングで研修参加報告が行われている。
		6.職員の教育・研修		○催事案内を近隣の商業施設や児童館・保育所等に持参し、潜在的な利用者への働きかけを行っている。
		7.利用者の意見・苦情を抽出する仕組みと対応状況		
		8.利用者アンケートや利用会議等の実施		
V	施設固有の基準	1.カウンター業務	○宮城県の「平成31年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)の文部科学大臣表彰」の被表彰館として選ばれた。	○読書離れが著しいヤングアダルト世代に向けた読書活動推進のため、選書アドバイザーとして学生を募り、ともに選書・展示・広報誌づくりを行うなど、積極的な取り組みを継続的に行っている。
		2.蔵書管理業務	○のびすく若林や「新寺こみち市」で「出前おはなし会」を定期的の実施した。	
		3.自主事業の適切な実施	○ピブリオバトル中学生大会を開催し、紹介された資料・関連資料の展示を行った。	

《施設設置者（仙台市）による評価》		《施設設置者（仙台市）による評価》		《施設設置者（仙台市）による評価》	
<p>平成30年度は、施設の運営面では、2ヶ月間にわたる休館期間を利用して、利用者から要望のあった児童トイレの洋式化工事や館内サインの統一・刷新と大活字本用書架の増設を行い、利用者に快適な読書環境を提供する取り組みを行い、サービスの向上に努めた。</p> <p>図書館事業では、地域イベント「新寺こみち市」における「ヤギさんおはなしかい」の継続、若林図書館臨時休館中も近隣施設で定例おはなし会や絵本作家講演会を実施するなど地域のつながりを重視した事業展開を行った。</p> <p>子ども読書推進活動においては、宮城県の「平成31年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)の文部科学大臣表彰」の被表彰館として選出される取組みを行った。</p> <p>また、若林図書館職員による手作り講座の開催など、幅広い層が参加できる事業を行うことで、多くの市民にとって親しみの持てる図書館づくりに取り組んだ。</p> <p>職員研修については、本社テクニカルサポート室が、人材育成方針に即した充実したカリキュラムを提供している。</p> <p>若林図書館では、昨年度からテレビ会議システムを導入し、本社の研修を図書館内で受講できる仕組みを整えた。特に実務に役立つ研修に積極的に職員を参加させたほか、館独自として、防犯講座を実施し、不審者への対応や心構えを全職員で学ぶなど、充実した研修体制は高く評価できる。</p> <p>今後もより一層、民間のノウハウを活かした図書館利用促進にかかる事業実施による利用拡大とともに適正な施設運営を期待する。</p>		<p>平成30年度は、新しい試みとして宮城総合支所内の絵本棚への絵本提供と図書館のお知らせの配布を行い、乳幼児とその親への読書推進と図書館PRに取組み、図書館の潜在的な利用者の掘り起こしに努めた。</p> <p>読書離れが顕著な中高生(ヤングアダルト世代)に対する読書活動支援を行うため、選書アドバイザーを募集し、中高生による自薦・他薦の読みたい本の選書活動やブックリストづくりなどの活動支援を行った。</p> <p>また、YA資料のコーナーの拡充や広瀬図書館スタッフが自薦の本を紹介する「MY本棚」を定期的に行い、利用促進を図っている。</p> <p>関係機関や地域との連携事業、地元企業と連携した講演会等の自主事業もより一層の充実を図り、多くの参加を得ている。</p> <p>広瀬文化センター・広瀬市民センターとの共催事業である「音楽で奏でる本の世界」コンサート及び朗読ワークショップの開催では新たな利用者の獲得にも努めた。</p> <p>今後もより一層、民間のノウハウを活かした図書館利用促進にかかる事業実施による利用拡大に期待する。</p>		<p>平成30年度は、図書館事業では、「夏休み読書スタンプラリー」や「あなたのおすすめ本を教えてください」等の独自の事業のほか、仙台市歴史民俗資料館との連携による講演会の開催も定着し充実している。</p> <p>「みやぎの・まつり」や「エキヒガシ七夕交流会」等地域のイベントに積極的に参加するなど地域団体やボランティアとの連携を深めながら、図書館のPRを行っている。</p> <p>読書離れが著しい中高生(ヤングアダルト世代)への読書推進を目的に、中高生の選書サポーターを募集し、中高生サポーターによる図書館の選書・書架の装飾・ブックリスト作成への支援活動を行った。</p> <p>また、仙台青葉学院短期大学や宮城学院女子大学、尚綱学院大学等の複数の大学と、講師派遣や職場体験受入などで連携を図り、将来の読書活動推進の担い手育成に寄与し、若い世代の図書館利用促進につなげる取り組みは高く評価できる。</p> <p>施設の維持管理について、館内の配置の工夫や、文庫本や新書サイズの本の意識的な配架による蔵書数の増加、カウンターの一部を利用したテーマ展示の実施等により、限られたスペースの中でも魅力的で快適な館内の維持に努めており、利用者へより良いサービスを提供するよう図っている。</p> <p>今後もより一層、民間のノウハウを活かした図書館利用促進にかかる事業実施による利用拡大に期待する。</p>	
総合評価	S	総合評価	S	総合評価	S

【総合評価】
SS：特に優れている
S：優れている
A：良い
B：普通
C：可
D：不遇

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市若林図書館
2	指定管理者	株式会社 ヴィアックス
3	指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 平成30年度：167,742人団体〔個人：167,357人、団体・文庫：385団体〕（前年度比101.4%） 平成29年度：165,505人団体〔個人：165,102人、団体・文庫：403団体〕 平成28年度：170,382人団体〔個人：170,022人、団体・文庫：360団体〕
		《事業》 仙台市若林図書館の運営管理
5	収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 95,220千円 (91,163千円) ・ その他市が負担した費用 17,575千円 (17,167千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 27千円 (30千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート 実施期間：平成30年12月9日（日）～12月22日（土） 利用者懇談会 開催日：平成31年3月15日（金）

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野		所見	評価
I	総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された、施設運営上の基本方針に基づき管理運営されており、全館共通の業務や行事も適切に行われている。サービスの質の向上や利用促進のための取り組みもなされている。	24/24
II	施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況、また、施設の開館状況は仕様書のとおり適切である。指定管理料も適正に執行されている。個人情報の取り扱いについて、イベントチラシに収集した個人情報を目的外使用しない旨明記されている。情報システムのセキュリティ対策については徹底している。危機管理マニュアルを作成し研修も実施している。災害発生時の訓練も関係機関と合同で適切に実施されている。ヒヤリ・ハット集を作成している。	30/30
III	施設・設備の維持管理	備品台帳が整備されており、物品および設備は適切に管理されている。環境へ配慮した取り組みがなされている。	17/17
IV	サービスの質の向上	館内の書架やカウンター周辺等の表示についてデザインや色を統一したものに刷新した。	28/27
V	施設固有の基準	子ども読書推進活動においては、宮城県の「平成31年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)の文部科学大臣表彰」の被表彰館として選出される取り組みを行った。のびすく若林や「新寺こみち市」で「出前おはなし会」を定期的に行なった。ビブリオバトル中学生大会を開催。紹介された資料・関連資料の展示を行った。「ぬいぐるみおとまり会」でおはなし会と本の貸出を行った。南小泉小学校で、読み聞かせとストーリーテリングを実施。	17/16

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（株式会社 ヴィアックス）による自己評価》
<p>平成30年度は、若林図書館の持つ特徴、地域特性を活かし「地域・市民に役立ち、共に成長を続ける図書館」の実現を目標に運営を行った。</p> <p>自主事業では、引き続き地域連携事業を中心に利用促進を図った。「読み聞かせボランティアサークルほんわか」と協働し、新寺こみち市での「ヤギさんおはなしかい」や「出前おはなし会」として南小泉児童館やのびすく若林などの児童施設に出向きおはなし会を実施し、子どもへの読書推進活動に積極的に取り組んだ。また、震災関連事業として、せんだい3.11メモリアル交流館と連携してトークイベントを実施したほか、若林区文化センターや若林区中央市民センター、南小泉児童館など近隣施設との連携事業も継続して行った。</p> <p>指定管理者独自の事業としては「本の世界に入ってみよう!」、「情報リテラシー支援講座」、「絵本作家講演会」、「スポーツ講演会」、「終活講座」など幅広い年齢層に向けた多様な事業を実施し、既存利用者の満足度をあげるとともに新規利用者の獲得に向け事業を実施した。</p> <p>職員研修では、接遇研修や個人情報保護研修といった全従事者対象の研修から、今年度からテレビ会議システムを導入し専門業務に対応した多様な研修を実施したほか、仙台市図書館や宮城県図書館主催の研修にも積極的に参加し、専門性の向上を図った。</p> <p>施設管理面では、若林区文化センターの設備改修工事に伴い二か月間にわたり施設全体が休館となったが、臨時の予約資料受取窓口を開設するとともに、定例おはなし会や自主事業を近隣施設で振替実施するなど工夫し、限定されたサービスではあったが利用者に継続してサービスを提供することに努めた。また、休館期間を有効に活用し、利用者アンケートでも要望のあった児童トイレの洋式化工事や近年利用が多い大活字本の棚の増設、YAコーナーの拡充、館内サインの刷新などより快適な読書環境を提供する取組みを行った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成30年度は、施設の運営面では、2ヶ月間にわたる休館期間を利用して、利用者から要望のあった児童トイレの洋式化工事や館内サインの統一・刷新と大活字本用書架の増設を行い、利用者に快適な読書環境を提供する取組みを行い、サービスの向上に努めた。</p> <p>図書館事業では、地域イベント「新寺こみち市」における「ヤギさんおはなしかい」の継続、若林図書館臨時休館中も近隣施設で定例おはなし会や絵本作家講演会を実施するなど地域のつながりを重視した事業展開を行い、子ども読書推進活動においては、宮城県の「平成31年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)の文部科学大臣表彰」の被表彰館として選出される取組みを行った。また、若林図書館職員による手作り講座の開催など、幅広い層が参加できる事業を行うことで、多くの市民にとって親しみの持てる図書館づくりに取り組んだ。</p> <p>職員研修については、本社テクニカルサポート室が、人材育成方針に即した充実したカリキュラムを提供している。若林図書館では、昨年度からテレビ会議システムを導入し、本社の研修を図書館内で受講できる仕組みを整えた。特に実務に役立つ研修に積極的に職員を参加させたほか、館独自として、防犯講座を実施し、不審者への対応や心構えを全職員で学ぶなど、充実した研修体制は高く評価できる。</p> <p>今後より一層、民間のノウハウを活かした図書館利用促進にかかる事業実施による利用拡大とともに適正な施設運営を期待する。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局市民図書館

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市広瀬図書館	
2	指定管理者	丸善雄松堂 株式会社	
3	指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日	
4	施設の利用状況	《利用者数》 平成30年度：123,852人団体〔個人：123,314人、団体・文庫：538団体〕（前年度比111.4%） 平成29年度：111,176人団体〔個人：110,608人、団体・文庫：568団体〕 平成28年度：108,844人団体〔個人：108,253人、団体・文庫：591団体〕	
		《事業》 仙台市広瀬図書館の運営管理	
5	収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 53,700千円 (53,700千円) ・ その他市が負担した費用 8,822千円 (8,912千円)	
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 24千円 (14千円)	
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート 実施期間：平成30年12月9日（日）～12月22日（土） 利用者懇談会 開催日：平成31年2月6日（水）	

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野		所見	評価
I	総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された、施設運営上の基本方針に基づき管理運営されている。全館共通の業務や行事も適切に行われている。サービスの質の向上や利用促進のための取り組みもなされている。	24/24
II	施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況、また、施設の開館状況は仕様書のとおり適切である。指定管理料も適正に執行されている。個人情報の取り扱いや情報システムのセキュリティ対策についても徹底している。危機管理について研修を実施し、災害発生時の訓練も関係機関と合同で適切に実施されている。事故や苦情等の処理報告書を榴岡図書館と共有し、ヒヤリ・ハット集の充実を図っている。	30/30
III	施設・設備の維持管理	建物、設備及び備品は適切に管理されている。環境へ配慮した取り組みもなされている。	17/17
IV	サービスの質の向上	利用者特性に配慮した分かりやすい掲示物・広報物等の作成や丁寧な接遇によりサービスの向上に努めている。必要な研修の機会も設けられており、スタッフミーティングで研修参加者による報告が行われている。催事案内を近隣の商業施設や児童館、保育所等に持参し、潜在的な利用者への働きかけも行っている。	27/27
V	施設固有の基準	読書離れが著しいヤングアダルト世代に向けた読書活動推進の取り組みとして、選書アドバイザーとして学生を募り、ともに選書、展示、広報誌づくりを行うなど、積極的な取り組みを継続的に行っている。 書架整理や選書支援については、利用状況や蔵書構成を把握しながら蔵書管理に取り組んでいる。	17/16

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価 —	

四 評価総括

《指定管理者（丸善雄松堂 株式会社）による自己評価》
<p>平成30年度の図書館運営は、年度当初に策定した基本方針と図書館振興計画の施策に基づき、事業計画を着実に実施してきた。</p> <p>1. 基本業務は、図書館の基礎的機能を充実させるとした基本方針に基づき、登録受付カードの整備など窓口対応の効率化に取り組んだ。こうした体制整備や事前準備により、貸出冊数上限の変更や9時30分開館の試行に瑕疵なく対応することができた。また、隣接する宮城総合支所への絵本の提供など、新しい取組みも開始することができた。</p> <p>2. 自主事業は、地域施設やボランティア団体と積極的に連携し、年間事業参加者数は延べ8,111人に上った。本と関連付けた音楽イベントのほか、地元企業や仙台高等専門学校との連携事業に、それぞれ「伝統工芸」・「プログラミング」をテーマとして盛り込むなど、特色ある事業の実施に努めた。</p> <p>3. 利用実績は、システム更新に伴う統計の仕様変更により利用者数と貸出冊数の年間比較は行えないものの、貸出冊数上限の変更により11月以降の貸出冊数が大幅に増加し、統計比較が可能な1月～3月の合計では前年比9,000冊超の増加となった。また、新規登録数が前年度比104.9%と増加したことは、自主事業や学校との連携を通じた図書館PRや利用促進が奏功したものと考えられる。</p> <p>4. 職員に対する教育研修は、指定管理者研修、仙台市図書館主催研修、外部研修を併用して実施した。研修報告書の作成と全体会議での報告を通じた研修内容の共有についても継続して実施した。</p> <p>5. 運営の評価は、自己評価や市民図書館による定例監査の他、第三者評価として、「利用者アンケート」を実施した。また、全市的な取り組みの一環として、「利用者懇談会」も継続して開催した。</p> <p>6. 施設管理は、「仙台市公共施設点検要綱」に基づく定期点検を適切に実施したほか、入居施設である広瀬文化センターとの緊密な連絡により効率的に実施することができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成30年度は、新しい試みとして宮城総合支所内の絵本棚への絵本提供と図書館のお知らせの配布を行い、乳幼児とその親への読書推進と図書館PRに取組み、図書館の潜在的な利用者の掘り起こしに努めた。読書離れが顕著な中高生（ヤングアダルト世代）に対する読書活動支援を行うため、選書アドバイザーを募集し、中高生による自薦・他薦の読みたい本の選書活動やブックリストづくりなどの活動支援を行った。また、YA資料のコーナーの拡充や広瀬図書館スタッフが自薦の本を紹介する「MY本棚」を定期的に行い、利用促進を図っている。</p> <p>関係機関や地域との連携事業、地元企業と連携した講演会等の自主事業もより一層の充実を図り、多くの参加を得ている。広瀬文化センター・広瀬市民センターとの共催事業である「音楽で奏でる本の世界」コンサート及び朗読ワークショップの開催では新たな利用者の獲得にも努めた。</p> <p>今後もより一層、民間のノウハウを活かした図書館利用促進にかかる事業実施による利用拡大に期待する。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局市民図書館

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市榴岡図書館	
2	指定管理者	丸善雄松堂 株式会社	
3	指定期間	平成29年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
4	施設の利用状況	《利用者数》 平成30年度：108,175人団体〔個人：107,967人、団体・文庫：208団体〕（前年度比121.0%） 平成29年度：89,403人団体〔個人：89,235人、団体・文庫：168団体〕 平成28年度：83,038人団体〔個人：82,845人、団体・文庫：193団体〕	
		《事業》 仙台市榴岡図書館の運営管理	
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 44,410千円 (44,410千円) ・ その他市が負担した費用 12,346千円 (12,359千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 35千円 (31千円)	
		()は前年度決算額	
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート 実施期間：平成30年12月9日（日）～12月22日（土） 利用者懇談会 開催日：平成31年2月15日（金）	

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野		所見	評価
I	総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された施設運営上の基本方針に基づき運営管理されている。全館共通の業務や行事は適切に行われている。サービスの質の向上や利用促進のための取り組みもなされている。	24/24
II	施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況、また、施設の開館状況は仕様書に相違なく適切である。指定管理料も適正に執行されている。個人情報の取扱や情報システムのセキュリティ対策についても徹底している。不審者への対応、事故防止策等について関係機関と連携するとともに他図書館の危機管理事例に基づき研修を実施している。災害発生時の訓練も適切に実施されている。	30/30
III	施設・設備の維持管理	建物及び設備は適切に管理されている。環境へ配慮した取り組みもなされている。備品も適切に管理されている。	17/17
IV	サービスの質の向上	利用者への丁寧な対応を基本姿勢として、サービスの向上に努めている。利用者アンケートや利用者懇談会から把握できた利用者ニーズについて、可能な限り対応を行っている。研修を受講しやすい環境を整え各種研修へ積極的に参加するとともに、参加者による研修成果を還元する報告も行われている。近隣の学校や児童館・保育所へ催事の案内等を持参し、潜在的な利用者へのアピールに努めている。	27/27
V	施設固有の基準	読書離れが著しいヤングアダルト世代に向けた読書活動推進の取り組みとして、選書サポーターとして学生を募り、ともに選書・展示・広報誌づくりを行うなど、積極的な取り組みを継続的に行っている。	17/16

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（丸善雄松堂 株式会社）による自己評価》
<p>平成30年度は「基本方針」と「仙台市図書館振興計画」に基づき地域の教育機関、団体等との連携を促進し利用者サービスの向上を図るとともに地域に根ざし親しまれる図書館を目指して業務と自主事業を進めた。また資料の配架においても、限られたスペースの中で蔵書数を増やすために文庫本や新書サイズの本を意識的に選定した。</p> <p>自主事業は、計57回(延回数)実施した。仙台朗読奉仕の会との連携事業「大人のための朗読会」では、榴岡図書館を利用したことのない利用者の参加も多かったが、会場と館内で関連書の展示を行い利用を促進した。また尚絅学院大学のワークショップも参加者には好評で、前年度から連続して参加している学生も見られた。</p> <p>利用実績は、システム変更後(平成30年1月～3月)と今年度の同期間を比較すると、利用者数(延人数)は15.0%増、貸出冊数は20.5%増となった。個人への貸出冊数増と併せ地域団体と積極的に連携し図書館のPRを行う等、利用の増加に繋がるよう工夫してきた結果だと考える。また、平成30年度は新規団体登録された保育園、保育所が2件増加した。地域に積極的に出向き潜在的利用者の掘り起こしを行ってきた結果だと考える。</p> <p>教育研修は、定例会での報告、および研修報告書の回覧によってフィードバックし職員全体でのスキルアップを図った。運営の評価は、自己評価や市民図書館による定例監査の他、全市的に行われた「図書館利用者アンケート」「利用者懇談会」各自主事業ごとのアンケートを実施し寄せられた意見を参考に利用者ニーズを把握し課題解決に努めた。</p> <p>施設管理は、開架書架の配置換えを適宜行う等、より利用者が資料を探しやすいように整えた。また「仙台市公共施設点検要綱」に則して定期的な点検を行うとともに、女子トイレのドアの閉まりを調整する等といった施設の適切な維持管理を行った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成30年度は、図書館事業では、「夏休み読書スタンプラリー」や「あなたのおすすめ本を教えてください」等の独自の事業のほか、仙台市歴史民俗資料館との連携による講演会の開催も定着し充実している。また、「みやぎの・まつり」や「エキヒガシ七夕交流会」等地域のイベントに積極的に参加するなど地域団体やボランティアとの連携を深めながら、図書館のPRを行っている。</p> <p>読書離れが著しい中高生(ヤングアダルト世代)への読書推進を目的に、中高生の選書サポーターを募集し、中高生サポーターによる図書館の選書・書架の装飾・ブックリスト作成への支援活動を行った。また、仙台青葉学院短期大学や宮城学院女子大学、尚絅学院大学等の複数の大学と、講師派遣や職場体験受入などで連携を図り、将来の読書活動推進の担い手育成に寄与し、若い世代の図書館利用促進につなげる取り組みは高く評価できる。</p> <p>施設の維持管理について、館内の配置の工夫や、文庫本や新書サイズの本の意識的な配架による蔵書数の増加、カウンターの一部を利用したテーマ展示の実施等により、限られたスペースの中でも魅力的で快適な館内の維持に努めており、利用者へより良いサービスを提供するよう図っている。</p> <p>今後もより一層、民間のノウハウを活かした図書館利用促進にかかる事業実施による利用拡大に期待する。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局市民図書館